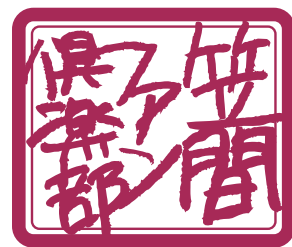


笠間が好きなひと。応援したいひと。この指とまれ！

笠間ファン倶楽部通信



2011 夏号

VOL.027

http://www.city.kasama.lg.jp/ss_info/fanclub/index.html



笠間ファン倶楽部
会員募集中



Kasama

表紙の写真／上…梅雨空の花蓮(はなばちす)
下左から…笠間のまつりの“ねぶた”、弁円懺悔の桜(西念寺境内)、筒井修さん邸でそば打ち体験

陶芸家探訪／筒井修・笠間の魅力は里山にあり

旅行プラン「笠間発見伝」で楽しむ陶芸体験 4

笠間昔話

親鸞聖人と笠間の関係 2

第30回 陶炎祭(ひまつり)／取材レポート

東日本大震災の応援コーナー多彩に

笠間再発見!

おすすめ笠間の喫茶店

夏のイベント情報

観光客が選ぶおすすめショップ

FAN FAN KASAMA

我らは笠間応援団!

なるほど笠間辞典

弁円懺悔の桜や見返り橋…

【主な参考文献】今井雅晴『茨城と親鸞』（茨城新聞社・2008年）、田中治郎（菊村紀彦 監修）『面白いほどよくわかる親鸞』（日本文芸社・2008年）



親鸞聖人と笠間の関係【第2回】

協力／稲田禪房 西念寺

今年は親鸞聖人の750回忌にあたります。浄土真宗の宗祖である親鸞聖人と笠間の関わりは深く、関東在住約20年の大半を稲田草庵で過ごされたと伝わっています。そんな親鸞と笠間との関わりを3回連続で紹介します。今回はその第2回目。



1. 風に折れて朽ちてしまい根本だけが残る“弁円懺悔の桜”。
2. 見返り橋と和歌の石碑。3. 親鸞聖人のお手植えとされる“お葉つき銀杏”。4. 稲田禪房 西念寺（稲田御坊）の本堂。
問い合わせ／西念寺 ☎0296-74-2042



浄土真宗の宗祖である親鸞は、関東在住約20年の大半を稲田草庵で過ごしたと伝えられています。今回は比較的有名なエピソードを、現在も見られる石碑や樹木などに触れつつ、紹介しましょう。

親鸞に敵意を抱いた山伏・弁円（べんねん）は、福原駅の南側にある板敷山で襲撃の機会をうかがい、何度も待ち伏せをしますが、失敗に終わります。そこで直接、稲田草庵の禅室に乱入しますが、親鸞の顔を見て後悔の涙を流し、回心（えしん）して弟子になったという話があります。笠間の城主・笠間時朝（ときとも）はそのことをとても喜び、現在の西念寺境内に桜を植えたと伝わっています。この桜は明治6年（1873年）に大風のため損木になってしまいましたが、根本だけが現在も残っています。ほかにも西念寺境内には、親鸞のお手植えとされる「お葉つき銀杏」など、ゆかりのものが多く残されています。

西念寺前の水田の中には「見返り橋」があります。60歳の頃、家族を残して帰京した親鸞が、見送る家族を振り返ったとされる由来から造られたもので、傍らに建つ石碑には親鸞が詠んだとも言われる和歌が記されています。その後、親鸞は、90歳という長寿をまっとうします。



笠間日動美術館 問/tel 0296-72-2160

- ◆ 招き猫亭コレクション 猫まみれ～ようこそ猫の迷宮へ～
※途中展示替有 前期:~6/19(日) 後期:6/21(火)~7/18(月・祝)
江戸時代末期より現在にいたる日本人作家および海外作家による「猫」をテーマにした作品を「招き猫亭コレクション」を中心に紹介します。一番身近な存在でありながらどこか謎めいた生態を持つ彼らから、作家が個々に受けたイメージや双方の関わり合いが感じられるユニークな展覧会です。
- ◆ 能の手法で語る「吾輩は猫である」
7/2(土) 14:00~ 能楽師:安田登氏、榎宅聡氏
- ◆ 学芸員によるギャラリートーク 7/17(日) 14:00~
※能とギャラリートークは入館料のみでご参加いただけます。
- ◆ 次回企画展「涼の音色へアートに聴く夏の上手な過ごし方」
7/23(土)~9/8(木)
開/9:30~17:00(入館受付は16:30まで)
休/毎週月曜日(但し7/18は開館、7/19~7/22は展示替のため休館)
料/大人1000円、大学・高校生700円、中学・小学生500円、65歳以上800円(20名以上の団体は各200円割引) 春風萬里荘との共通券/大人1,400円、大学・高校生900円、中学・小学生600円、65歳以上1,100円(20名以上の団体は各200円割引)

笠間工芸の丘 問/tel 0296-70-1313

- ◆ love bowl in kasama 2011 6/22(水)~7/24(日)
- ◆ またたくカフェ~ともる器ともしお菓子~ 6/22(水)~7/10(日)
- ◆ 食卓の情景展 X 7/13(水)~8/7(日)
- ◆ 中山仁美作陶展 7/27(水)~8/7(日)
- ◆ 迫二郎・杉山洋二 ガラス二人展 8/10(水)~8/21(日)
- ◆ 酒井芳樹と仲間展 8/24(水)~9/4(日)
- ◆ エダマメスペシャル 旅とおみやげ 8/24(水)~9/4(日)
- ◆ 菅原良子作陶展 9/7(水)~9/19(月・祝)
- ◆ 秋の夜長と楽しむ器展 9/14(水)~10/2(日)
- ◆ 森のおはなし 9/21(水)~10/2(日)

笠間稲荷神社 問/tel 0296-73-0001

- ◆ 車の茅の輪くぐり 6/26(日) 10:00~
場/佐白山麓笠間稲荷神社外苑駐車場 料/1,000円~(御はらい料)
- ◆ 夏越の大祓一茅の輪くぐり 6/30(木) 16:30~
- ◆ 旧大祓式 7/30(土) 16:30~
- ◆ 事比羅祭 8/1(月) 13:00~
- ◆ 末社祭 8/1(月) 15:00~
- ◆ 献燈祭 8/7(日) 17:00~
- ◆ 中秋祭 9/12(月) 16:30~
- ◆ 小笠原立三三九手袂式 9/23(金・祝) 12:30~

出雲大社 常陸 問/tel 0296-74-3000

- ◆ 夏越大祓祭 6/26(日) 14:00~
- ◆ ガラスフェア(出雲館) 8/12(金)~8/15(月)
- ◆ 夏季みたままつり 8/15(月) 18:00~
- ◆ 秋季みたままつり 9/23(金・祝) 11:00~

茨城県陶芸美術館 問/tel 0296-70-0011

- ◆ 第21回 日本陶芸展 7/9(土)~9/4(日)
日本陶芸展は1971年の創設以来隔年で開催され、今回で21回を迎えます。伝統・自由造形・実用の公募部門に加え、重要無形文化財保持者を含む13名の招待部門の作家の作品を展示するとともに、部門の枠を超えて大賞ほか各賞が選ばれます。現代日本の陶芸を代表する最高水準の作品が一堂に会する展覧会です。
休/月曜(祝日の場合は翌日) ※()内の料金は20名以上の団体料金
料/一般700円(550円)、高大生500円(400円)、小中生250円(200円)
- ◆ 現代茨城の陶芸展「Flower Vessel-花と器-」~8/21(日)
- ◆ 「Layered-釉の層・土の層-」 8/24(水)~11/20(日)
- ◆ コレクション展/新収蔵品展 ~9/25(日)
休/月曜(祝日の場合は翌日)
料/一般300円(250円)、高大生250円(200円)、小中生150円(120円)

稲田禅房 西念寺(稲田御坊) 問/tel 0296-74-2042

- ◆ 夏期親鸞講座「親鸞聖人-法然上人への入門-」
7/23(土) 13:00~7/24(日) 正午 講師/今井雅晴氏(筑波大学名誉教授)
料/1日2,000円、2日3,500円(昼食は要予約)
- ◆ 吟詠歌劇「親鸞」公演(奉納)
7/24(日) 13:30~ 公演団体は女性の吟詠歌劇団「火乃鳳」
- ◆ 玉日様報恩講法要と秋季永代経法要 8/31(水)~9/4(日)
※9/3・9/4は岐阜県の浄永寺坊守様による「お説教」あり
※9/4は8:30より玉日廟への「わらじ参り」あり

● 恋人の聖地イベント

- ① オープニング 夏に実施予定
問/笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101
- ② 婚活フェス2011 10/9(日) 10:00~
場/笠間芸術の森公園
問/笠間市市民活動課 tel 0296-77-1101

● 麻布十番復興キャンペーン

- 7/13(水)~7/18(月・祝)
場/港区麻布十番商店街 パティオ広場
問/笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

● 平神社 祇園祭(花火大会)

- 7/23(土)・7/24(日) 花火大会は7/23(土) 20:00~(雨天順延)
昔ながらの當家制度を受継ぐ祭。上町、中町、下町、橋爪の四町で神輿を担ぎ、各町内を練り歩きます。当主は神輿が當家に来るまでの間、四方竹の中にもこり、神輿渡御中は、話すことを禁じられます。また、1年間、キュウリと川魚を口にしてはいけなそうです。
場/平町、橋爪地区

● 八坂神社の祇園祭

- 7/30(土)~8/1(月)(予定)
八坂神社の神輿や子ども神輿が市内を練り歩きます。
場/笠間稲荷神社門前通りほか
問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222

● 第11回 全国子ども陶芸展 in かさま

- 8/4(木)~8/16(火) 9:30~17:00 ※8/8(月)、8/15(月)は休館
場/茨城県陶芸美術館 県民ギャラリー
問/茨城新聞社企画事業部 tel 029-221-3155

● 十六夜まつり

- 8/13(土)・8/14(日) 18:00~21:00
笠間芸術の森公園にほど近い、陶の小径(とうのこみち)では、地元の陶芸家や窯元などが制作した約1,000本の陶の筒灯りが歩道に並べられ、幻想的な夏の夜を演出します。
場/陶の小径 問/やまさき陶苑 tel 0296-72-6865

● 笠間のまつり

- 8/16(火) 灯籠流し 18:00~21:00
8/20(土) ねぶた&神輿パレード 18:00~21:30
笠間の夏を彩る恒例のお祭りです。8/16には「灯籠流し」、8/20には「光のオブジェ(ねぶた&神輿)パレード」が行われます。市民手作りのねぶたや、「ラッセラー、ラッセラー」の掛け声で知られる跳ね人による盛り上がりは圧巻です。 場/笠間稲荷神社周辺
問/笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101
社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222

● センチュリーラン笠間2011

- 9/4(日)(予定) ※雨天決行、日時等の変更の可能性あり
笠間を出発し筑波山を1周する本格的なサイクリングイベント。
場/笠間芸術の森公園
問/茨城県サイクリング協会 tel 029-871-8488

● 第3回 月見の会

- 9/10(土) 18:00~20:00
500個以上のキャンドルと2基のかがり火で、中秋の名月に照らし出される笠間の街を演出します。眺めの良い夜のつつじ公園山頂で、電気を極力使わない時間をゆっくりと楽しんでください。
場/笠間つつじ公園
問/tel 080-1987-1146(福田)

● 笠間火器

- 9/17(土)~9/19(月・祝)
直火に耐えられる笠間焼「笠間火器」の新作を市内各店舗にて展示販売します。 場/市内各参加店
問/笠間焼協同組合 tel 0296-73-0058

● GARAGE PICNIC BAZAAR vol.6

- 9/24(土)・9/25(日) 10:00~17:00
場/笠間市上加賀田1035
問/tel 090-3478-4723

● 北山公園・キャンプ場

- 無料のキャンプ場とバーベキュー場があります。
料/無料(キャンプ場の使用、鉄板レンタル、ほか)
問/北山公園管理事務所 tel 0296-78-3911

● スカイロッジ・バーベキュー広場

- 燦々と降り注ぐ太陽の下、標高300メートル付近から遠く太平洋、霞ヶ浦が望めます。昼のバーベキューは夏が似合う!
営/10:00~14:00 料/1セット2,550円
問/スカイロッジ管理事務所 tel 0299-45-6622

● 笠間いきいき市場

- 毎月第3日曜日 9:00~15:00
場/旧畜産試験場跡地
問/tel 0296-78-3911(北山公園管理事務所内いきいき市場事務局)

● 栗の家 骨董市

- 毎月第1・3日曜日 6:00~15:00 場/栗の家
問/tel 0299-45-5124(※悪天時:誠屋 tel 090-1660-3460)



筒井 修さん「笠間の魅力は里山にあり」

笠間を代表する陶芸家のひとり、筒井修さんによる延べ3日間の旅行プランが始まりました。笠間らしい里山に佇む、素敵なハンドメイドのご自宅で、「ものづくり」の素晴らしさを体感出来ます！

筒井塾 匠の技を伝授します!「ものづくり体験」
 旅行代金/お一人様 26,050円~27,300円
 旅行企画・実施/笠間発見ツアーズ
 問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222

お申し込みお待ちしております!

※延べ3日間のプランですが、2日間への変更も可能です。要相談。



仕事場にて。手前の小皿が筒井修さんの作品。

三角屋根のご自宅はツーバイフォー工法による手造りの家。出来映えが良かったため、竣工当初は、陶芸に関係ない住宅雑誌の取材依頼が多くあったそうです。



本格的なそば打ち体験。筒井さんはそば打ちも得意です！



筒井修さんによるこのプランは、「器」と「食」をテーマに、1回目に蕎麦皿と蕎麦猪口の形を作り、2回目に釉がけを体験。ここでは筒井作品に多く見られる「銀化」の技が伝授されます。そして3回目に焼き上がった自分の器で、自ら打った蕎麦を食すという、なんとも贅沢な内容になっています。「技術的なことばかりではなく、陶芸の魅力を広く伝えていきたい」と筒井さん。民芸運動に影響を受け、「手造りで温もりの感じられるものをもっと生活の中に取り入れて欲しい」という思いで、今日まで創作活動を続けてきました。自宅を手造りしてしまうほど「ものづくり」が大好きな筒井さんは、手造りのものに囲まれて暮らすことの豊かさと素晴らしさを、本当に深く理解しています。笠間の魅力は里山の素晴らしさにあると話してくれましたが、三角屋根の自慢のご自宅は、笠間の里山の中に、静かに佇んでいます。



東日本大震災被災地への 応援コーナー多彩に



ガンバレ東日本！応援ブース、相馬焼販売テントなどを設置

3月11日発生の東日本大震災では笠間市も被災し、笠間焼を生産する窯元や作家の皆さんのところでは、作品や窯などに甚大な被害を受けた方が少なくありませんでした。それでも自粛ではなく、「元気を発信しよう」「東日本を応援し、盛り上げよう」という気持ちから、30回の節目を迎える陶炎祭(ひまつり)がGW期間中、笠間芸術の森公園で開催されました。

会場では各所に、東日本大震災の被災地に向けた応援コーナーが設けられ、たくさんの来場者が足を止めていました。入口付近には義援金(ぎえんきん)募金コーナーをはじめ、陶器のイベントらしく、被災地に「めし椀」を送るためのコーナーが設けられていました。また、「ガンバレ東日本！応援ブース」では、福島第一原発事故により避難区域となった福島県浪江町の相馬焼の展示販売や、風評被害に苦しむ茨城

県の野菜や海産物などの販売が行われ、多くの来場者が興味を示していました。陶炎祭名物の「土面オークション」は、今年はチャリティーとなり、売上金の一部を東日本大震災の義援金としました。さらに、展示作品の中から好きなお茶碗を選んで抹茶を味わえる「チャリティー抹茶椀展」が開催され、この売上金の一部も義援金とすることになりました。音楽ライブがメインの「夜まつり」は中止となりましたが、地元アーティストらによる演奏が随時行われ、復興への願いを歌にのせ、盛り上がっていました。

東日本を元気にしよう、応援しようという気持ちが伝わり、多くの来場者を迎えた今年の陶炎祭。主催者も来場者も、心がひとつになったような、温かい気持ちになったような、そんな一体感に包まれていることを実感することが出来ました。



テレビ番組“DASH村”でもおなじみ、相馬焼の陶芸家・長橋明孝さん。作品が早々に売り切れたため、絵を描かれていました。

チャリティー抹茶椀展のひとコマ。展示作品の中から好きな作品を選んで抹茶が飲み、売り上げの一部は義援金へ。



緑いっぱい！おすすめ笠間の喫茶店

笠間再発見

笠間芸術の森公園 近郊編

笠間は昨年、「陶芸の里かさま」として“恋人の聖地”に選ばれました。デートにぴったりの、笠間芸術の森近郊にある、おすすめの喫茶店を紹介します。都会では考えられないほど、ゆったりとした空間の、緑いっぱいのお店が多く、それぞれに個性があるので、お好みのお店を見つけてくださいね！



HOME ROST COFFEE 夢豆 (コーヒー豆販売)

住／笠間市笠間1960
電／0296-72-5414
営／8:00～18:00
休／日・月曜日、祝日の一部
<http://www10.plala.or.jp/k-mutou/yumemame.html>



風の丘

住／笠間市笠間2345(茨城県陶芸美術館内)
電／0296-72-0197
営／10:30～17:00
休／月曜日(祝日の場合は翌日)
<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/restaurant/>



カフェ ワスガゼン

住／笠間市笠間2501-2
電／0296-72-7987
営／11:00～21:00
休／不定休
<http://www.bacca.net/wasugazen/kasama/>



ドロップイン

住／笠間市笠間2518-6
電／0296-72-0250
営／11:00～18:00
休／木曜日
<http://ameblo.jp/kasama-dropin/>



ものみ茶屋

住／笠間市笠間2517-1
電／0296-72-9928
営／11:30～21:00
休／月曜日(祝日の場合は翌日)
<http://www.monomijaya.e-kasama.jp/>



ギャラリー せらうい

住／笠間市笠間2777-9
電／0296-73-0772
営／10:00～18:00
休／金曜日

あたご天狗の森 スカイロッジ

会員特典 有料会員は宿泊料 10%引き

土曜、祝前日及び7/21～8/31を除く。1回のご利用で1棟のみ対象。他の割引制度との併用不可。

標高305mの愛宕山、その山頂にある愛宕神社は、日本三大火防神社の一つ。春になると桜で色づき、多くの観光客で賑わいます。この山頂付近にある本格的なログハウスが「スカイロッジ」。日本産のヒノキを使用した室内には、バス・ダイニングキッチン・トイレ・エアコン・テレビが備えてあり、バーベキュー施設も併設されています。

住／笠間市上郷2775-7 電／0299-45-6622
営／チェックイン 15:00 チェックアウト 10:00 休／無休

笠間ファン倶楽部／会員特典ファイル1



笠間ファン倶楽部のホームページをリニューアル!

笠間ファン倶楽部のホームページをリニューアルしました。笠間の魅力を「自然」「歴史」「芸術」「旬・食」の4つのカテゴリで紹介。デザインを一新し、より使いやすい形になりましたので、どうぞご活用ください。会員および入会希望者向けのページとしては「会員登録・メルマガ登録」や、お得な情報満載の「会員特典・協力店情報」などがあり、充実のコンテンツ。無料会員向けの「笠間ファン倶楽部通信」のダウンロードはこちらから行えます。笠間ファン倶楽部に関するお知らせやイベント情報についても、ホームページで発信していきます!

http://www.city.kasama.lg.jp/ss_info/fanclub/index.html



トップページにある自然、歴史、芸術、旬・食という4つのカテゴリの中から、お好みの笠間を見つけましょう!

恋人の聖地でモニュメント

冬号でもお伝えしましたが、笠間市は、NPO法人地域活性化支援センターが展開する、地域活性化・少子化対策プロジェクト「恋人の聖地」において、平成22年6月1日に「陶芸の里かさま」として選定されました。恋人の聖地とは、全国の観光地域の中からプロポーズにふさわしいロマンティックなスポットを選定するもの。「晩婚化・未婚化の進行」を少子化問題のひとつとして捉え、「結婚」に対する醸成を図るための様々な活動を行います。笠間市では「恋人の聖地」の記念モニュメントの製作を開始します!どんなモニュメントが出来上がるかは、見てのお楽しみ☆完成お披露目の際には、恋人をイメージした素敵なイベントの開催も予定しています。(8ページに関連記事あり)

FAN FAN VOICE ~読者の声~

- もう10年来、ゴールデンウィークに催される陶炎祭に行かせて頂いています。雰囲気、作家さんの作品、出店の料理やお酒全て素晴らしく、初めて行った以来ファンになっています。それもあって笠間ファン倶楽部に申し込みたいと思いました。これからのご活躍期待しております。(東京都・男性)
- 笠間は近いので、ストレスが溜まった時にドライブがてら陶器を見に行くのが私の楽しみです。(笠間に住みたくて)土地を探しています。(茨城県・女性)
- 駅でつづじまつりのパンフレットを拝見しました。千紫万紅の言葉が良いですね。熱心が伝わります。是非、笠間へ行って、サイクリングなどを楽しみたいです。(千葉県・男性)

GOOD SHOP

観光客が選んだおすすめショップ

INFORMATION

ブルーベリー摘み取り専用農園



小原地区の四方が開かれた清々しい土地にあるブルーベリーの摘み取り専用農園です。ハイブッシュからラビットアイまで60品種、約900本を有機肥料と木酢液による無農薬で栽培しています。栽培面積は5200m²。園内は食べ放題で、摘み取り・持ち帰りは100g200円。7月から9月初旬まで楽しめます。大型駐車場も完備。必ず要予約をお願いします。



ブルーベリー園小原の郷

住/笠間市小原1220-1
電/0296-77-2953
営/金・土・日・祝の9:00~17:00
料/大人300円、小学生まで無料
<http://burubery.iinaa.net/>



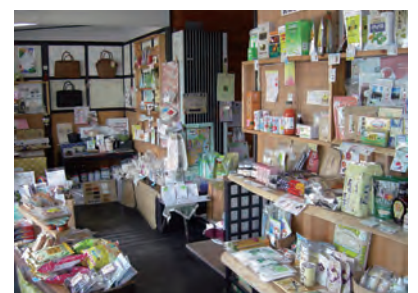
nature 安心へのこだわり自然食品&雑貨



心と体に優しい癒しを提供してくれるお店です。自然食品やマクロビオティック商品(※マクロビオティックとは食生活・食事療法の一つ。長寿法を意味する)をはじめ、オーガニック化粧品、無添加洗剤・石鹸、自然塗料、ナチュラル雑貨などの日常必需品を扱っています。毎日使うものだから、安心・安全にこだわった商品を選び、信頼出来るものだけを販売しています。

イーハートブの森

住/笠間市下市毛861-3 共販センター2F
電/0296-72-9651
営/11:00~17:00 休/金・土曜
<http://www.sizensyoku.com/>
<http://www.makuro.co.jp/>(通販)



笠間の人々と親鸞

今井雅晴さん(筑波大学名誉教授・真宗文化センター所長)



今井雅晴氏の親鸞関連の著書は多数。



私は水戸に住んでいる。水戸から笠間に行く時には、車で国道50号を走る。やがて佐白山が正面に見え、それが左に移るころになると、右には栃木県との境の山々が現れてくる。この景色が目に入ると、いつも私は暖かな、そして懐かしい気分誘われる。

笠間は古い時代から栄えていた。鎌倉時代はじめには、笠間時朝が佐白山を本城とし、笠間氏18代のもとを築いた。同じころ、稲田に42歳の親鸞がやってきて草庵を設け、浄土真宗の基礎を作った。

今の稲田は穏やかな田園地帯である。私が驚いたのは、そのころの稲田には南北に通る街道があり、大神駅(おおかみのうまや)という宿場があつて賑わっていたことである。大神というのは、櫛稲田姫を祭神とする稲田神社のことである。

稲田神社は鹿島神宮などと並ぶ、常陸国の七大神社の一つであった。また、当時の大神社の常として、神官はもちろん多数の僧侶を抱え、仏教書も多かった。その稲田神社のすぐそばにあつた親鸞の稲田草庵は、西

念寺として受け継がれている。

佐白山の南の麓には光照寺がある。ここは親鸞が西の方から来たとき、最初に草鞋を脱いだとの伝えを持つ寺である。その由緒によって「お草鞋ぬぎのご草庵」または「笠間草庵」と呼ばれてきた。さらには親鸞門弟の一人である唯信が開基となっている寺もある。宍戸の唯信寺である。

笠間市の西にそびえる吾国山にくつつくように立つ板敷山は、親鸞と彼に反抗した山伏弁円との舞台の山である。西念寺の南の田圃の中には、見返り橋がある。60歳のころに京都へ帰る親鸞が草庵の門に立って見送る家族を懐かしみ、思わず振り返ったところであるという。また東の方の丘には親鸞の妻の墓がある。ここは昔から玉日廟と呼ばれてきた。

これはいずれも全国の浄土真宗の世界ではよく知られている。

笠間の人々と親鸞との親しい交流はどのようなものであったろうか。例えば、笠間時朝は高さ1.8メートルもの阿弥陀像・弥勒菩薩像・千手観音像を作り(時朝の等身大であったという)、鹿島神宮に唐本一切経を寄進

するようなあつい信仰の持ち主であつてみれば、親鸞との交流も皆無ではあるまい。

昔の人が何を思い、どのように行動して歴史を作ってきたかを探るのはとても興味深い。私たちの心を豊かにしてくれる。いま、世の中では経済的發展とともに心の癒しや充実が求められている。特に、私たちは東日本大震災の被害から立ち上がらなければならない。それを笠間の歴史遺跡は支えてくれると私は思う。

そしてこれらの遺跡は市外からも多くのお客さんを招くことができる魅力に満ちている。本年は親鸞没後の750回忌にあたり、親鸞が壮年時代の18年間を過ごした茨城県は注目されている。特に、笠間がその中心であることは間違いない。多くの方々をお迎えし、親鸞の遺跡とともに、笠間の他の魅力についても紹介していきたいものである。

恋人の聖地・サポートショップ募集中



笠間市では、サポートショップとして、「恋人の聖地」の趣旨(7ページ参照)に賛同していただける、市内に事業所を構える方を募集しています。

【加入メリット】① 笠間市独自の恋人の聖地ホームページでの個店紹介 ② 恋人の聖地会員ストラップ(プロミスベア「約束のクマ」)の取扱い ③ 店舗独自で恋人の聖地に関するイベント・キャンペーンを行うことが出来る【会費】5,250円/年 【申込方法】笠間市役所 商工観光課まで電話してください(連絡先は下記)。後日、申請書を郵送します。 ※随時受付

←笠間発見伝ブログはこちら
笠間発見伝の魅力を配信中！



笠間のいな吉ブログはこちら→
観光・イベント情報や様々な取り組みなどを配信中！



笠間ファン倶楽部 * 会員募集中 *

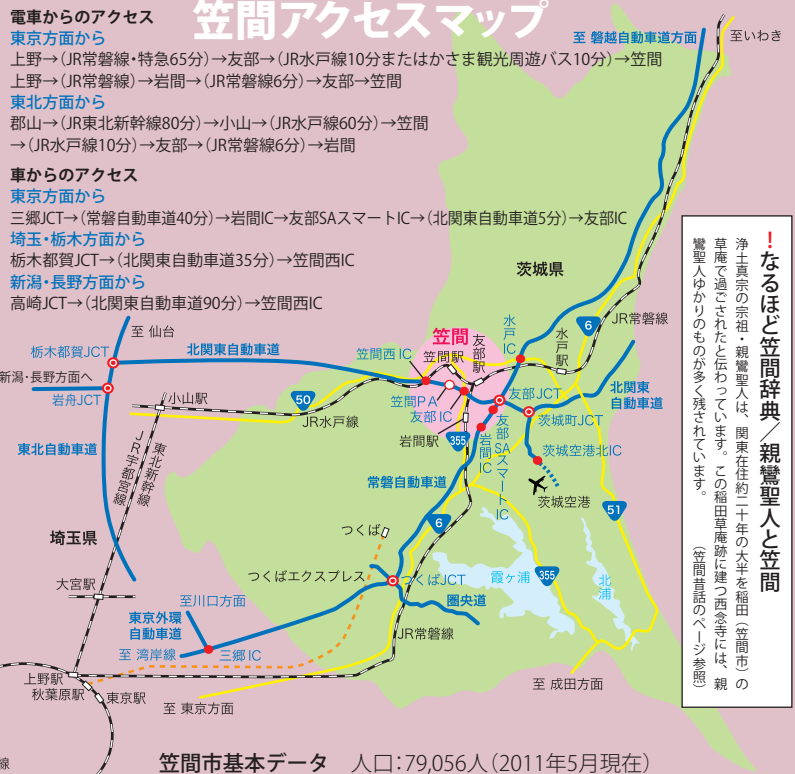
笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人(外の眼)が多くの笠間人(内の目)とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。ぜひ皆さんお申し込み下さい。 ※無料会員と有料会員があります。

笠間市役所 商工観光課

〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号
TEL 0296-77-1101 FAX 0296-77-1146
E-mail kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp

おねがい
メールの際にはタイトルに「笠間ファン」と記載してください。

笠間アクセスマップ



笠間市基本データ 人口:79,056人(2011年5月現在)
面積:240.25km² 駅の数:6駅 高速道路ICの数:4箇所

この機関誌は、再生紙、大豆油インクを使用しています。

！なるほど笠間辞典・親鸞聖人と笠間
 浄土真宗の宗祖・親鸞聖人は、関東在住約二十年の大半を稲田(笠間市)の草庵で過ごされたと伝わっています。この稲田草庵跡に建つ西念寺には、親鸞聖人ゆかりのものが多く残されています。(笠間市のページ参照)